

役所さんちの家計簿

役所さんちの家族は？

お父さん…地元企業のサラリーマン
お母さん…近所のスーパーでパート
長男…県外大学生
長女…保育園児



～宇土市を一般家庭に例えたら～

市の決算をより身近に感じていただけるように、平成20年度の市の決算状況を、「役所さんちの家計簿」に例えてお知らせします。お父さんの給与を民間企業の平均給与の額と仮定し、市の財政を一般家庭の家計に置き換えて仮定の家計簿を作成しました。市の財政と一般家庭の家計では内容が違うので単純に比較はできませんが、難しそうと思わずにご覧ください。

役所さんちの家計簿

(カッコ内は、市の会計での項目)

役所さんちの収入			役所さんちの支出		
項目	H20年度	前年度比	項目	H20年度	前年度比
お父さんの給与	532万 5 千円	+16万 6 千円	食費 (人件費)	109万 1 千円	▲ 9 万 3 千円
基本給 (地方税)	189万 3 千円	▲ 8 千円	医療費や長女の養育費 (扶助費)	133万 4 千円	+ 7 万 5 千円
諸手当 (地方交付税、各種交付金、国県支出金)	343万 2 千円	+17万 4 千円	ローンの返済 (公債費)	90万 3 千円	▲ 5 万 6 千円
お母さんのパート収入 (使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入)	48万 7 千円	+ 1 万 5 千円	生活雑費 (物件費)	47万 4 千円	▲ 2 万 2 千円
その他臨時収入 (寄附金、財産収入等)	4 万 8 千円	+ 4 万円	家や庭の手入れ・修繕など (維持補修費)	5 万 9 千円	+ 9 千円
ローンの借入 (地方債)	78万 9 千円	▲19万 7 千円	家の増改築や家財道具購入 (普通建設事業費)	84万 8 千円	+ 6 万 4 千円
前年の残金 (繰越金)	43万 1 千円	+37万 5 千円	地震・台風災害の応急処置 (災害復旧費)	4 万 3 千円	+ 2 万 6 千円
貯金の取り崩し (繰入金)	8 千円	▲ 3 千円	長男への仕送り (繰出金)	64万 2 千円	+ 9 千円
合 計	708万 8 千円	+39万 6 千円	区費やサークル・会合への会費など (補助費等)	71万 4 千円	▲ 1 万 3 千円
			貯金 (積立金)	1 万円	+ 7 千円
			株式投資 (投資及び出資金)	1 千円	▲ 3 万 9 千円
			友人への貸付 (貸付金)	39万 9 千円	+36万 1 千円
			合 計	651万 8 千円	+32万 8 千円

宇土市の収支

市の歳入 (一般会計)			市の歳出 (一般会計)		
項目	H20年度	前年度比	項目	H20年度	前年度比
地方税	37億9,060万5千円	▲1,733万2千円	人件費	21億8,424万1千円	▲1億8,737万6千円
地方交付税、各種交付金	46億196万1千円	+2,133万4千円	扶助費	26億7,144万9千円	+1億5,008万4千円
国県支出金	22億7,222万8千円	+3億2,881万2千円	公債費	18億831万4千円	▲1億1,206万円
使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入	9億7,528万6千円	+2,942万3千円	物件費	9億5,003万4千円	▲4,260万8千円
寄附金、財産収入	9,529万9千円	+7,949万6千円	維持補修費	1億1,889万2千円	+1,822万4千円
地方債	15億7,939万3千円	▲3億9,580万7千円	普通建設事業費	16億9,847万4千円	+1億2,888万7千円
繰越金	8億6,325万9千円	+7億5,124万5千円	災害復旧費	8,635万5千円	+5,255万2千円
繰入金	1,530万7千円	▲621万1千円	繰出金	12億8,635万5千円	+1,833万円
合 計	141億9,333万8千円	+7億9,096万円	補助費等	14億3,009万6千円	▲2,614万円
			積立金	2,083万6千円	+1,546万1千円
			投資及び出資金	250万円	▲7,692万7千円
			貸付金	8億円	+6億円
			合 計	130億5,754万6千円	+5億3,842万7千円

※平成21年度へ繰り越すべき財源7億5,491万5千円を除く実質的な収支は、3億8,087万7千円となります。

※市の歳入歳出は端数処理のため計が一致しない場合があります。

収入の状況は 役所さんち全体で39万6千円増加しました。

◆お父さんの給与が16万6千円増加しました。

市の歳入項目…地方税・地方交付金及び各種交付金・国庫支出金

地方税収入は昨年並みでしたが、普通建設事業に対する国庫支出金が1億8,900万円増加したことなどが影響しています。

◆ローンの借入は19万7千円減少しました。

市の歳入項目…地方債（お金の借り入れ）

地方債借入額は、約3億9,600万円減少しました。走潟小学校体育館の建設などの大型事業が前年度で完了したことなどが主な要因です。市では、毎年度の起債の借入額を償還額以下に抑え、将来の負担を軽減するよう取り組んでいます。

支出の状況は 支出は役所さんち全体で32万8千円増加しました。

◆ローンの返済額が5万6千円減少しました。

市の歳出項目…公債費（借金の返済金）

返済額は、平成19年度に比べ約1億1,200万円減少しました。過去に行った普通建設事業の借金（起債）の返済額がピークを過ぎたため、今後も減少する見込みです。また、将来の財政負担軽減のため約1億3,780万円の繰上償還（返済）を行いました。

◆日常生活に必要な生活雑費を2万2千円削減しました。

市の歳出項目…物件費（賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費）

平成16年11月に策定した財政健全化推進プランの取り組みを進めており、物件費は約4,260万円減少しました。

◆食糧費は9万3千円減少しました。

市の歳出項目…人件費（市議会議員や職員の給与・退職金など）

平成20年度は、平成19年度に比べ退職者が少なく、退職金が約1億1,500万円減少し、また、職員給は職員数削減により約7,700万円減少しました。人件費全体では、約1億8,700万円減少しました。

◆医療費、長女の養育費が7万5千円増加しました。

市の歳出項目…扶助費（社会福祉充実のための費用）

扶助費は、約1億5,000万円増加しました。主な要因は、児童手当の増加などです。扶助費は毎年増加傾向にあり、この伸びは今後も継続するものと予測しています。

◆家の増改築や家財道具の購入費用が6万4千円増加しました。

市の歳出項目…普通建設事業費（道路など公共施設などの整備に要する費用）

国の補助を受けて行う事業の経費は約1億3,500万円減少しましたが、反対に市民会館耐震改修事業などの市単独で行った事業の経費は約2億6,300万円増加しました。

◆地震・台風発生時の家の応急処置費が2万6千円増加しました。

市の歳出項目…災害復旧費（異常な自然現象等による被災の復旧に要する経費）

平成19年度と比べて集中豪雨などによる被害が多く、約5,300万円増加しました。

家計の収支は 平成20年度の役所さんちの家計は、57万円の黒字でした。

◆平成19年度と比べて収入は39万6千円増加しました。

◆平成19年度と比べて支出は32万8千円増加しました。

よくある質問 みなさんからよくお尋ねがあることについて、お答えします。



Q 「財政再生団体」という言葉を聞くけど、宇土市は大丈夫なの？

A 財政再生団体とは財政状況の悪化により国の管理下で財政再建を進める団体のことで、市が行う事業に大幅な制限が出てきます。

市町村が財政再生団体となる指標（健全化判断比率）は、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つです。宇土市の平成20年度決算では4つの指標のいずれも基準内となっています。

今後も計画的な財政運営を行うことで、直ちに財政再生団体となるということはありません。

よくある質問 みなさんからよくお尋ねがあることについてお答えします。



Q 宇土市の財政健全化は進んでいるの？ 今後はどうなるの？

A 本市の財政状況は、平成16年からの国の三位一体の改革により非常に厳しい状態となりましたので、宇土市財政健全化推進プランを策定し、さまざまな取り組みを行ってきました。その結果、平成20年度決算では平成15年度に比べて約5億5,200万円の改善効果があったと試算しています。

また、自治体の財政状況を図る「ものさし」としてさまざまな財政指標がありますが、「経常収支比率」と「実質公債費比率」について現在の状況を説明します。

経常収支比率…94.9% (H19) から92.9% (H20) へ2ポイント良くなりました。

市が自由に使いみちを決めることができる一般財源（市税、地方交付税等）を、経常的に支出しなければならない経費（人件費、扶助費、公債費等）にどれくらい充てているかという割合になります。この割合が低くなるほど、他の経費に回す財源に余裕があり財政的に良好な状態と言えます。数値は3年続けて良くなっており、今後も改善傾向と見込んでいます。

実質公債費比率…17.2% (H19) から15.5% (H20) へ1.7ポイント良くなりました。

市の歳入に対する借金返済額（公債費）の比率を示すもので、特別会計での借金返済に対する一般会計からの支出なども算定に加えており、この割合が上昇すると、借金の返済に追われた財政運営であるということが出来ます。実質公債費比率の数値も改善傾向が続くと見込んでいます。

財政健全化推進プランの期間は平成20年度まででしたが、今後も財政健全化への取り組みを継続し、さらなる健全化に努めていくこととしていますので、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

財政健全化推進プランの取り組み

平成16年11月から財政健全化推進プランの取り組みを進めていますが、平成20年度決算では、平成15年度と比べて歳入・歳出合わせて約5億5,200万円の改善効果がありました。

歳入面での取り組みと効果額

財政健全化推進プランの取り組み	効果額
市税・使用料等の徴収率向上	3,100万円増加
市有財産の有効活用	4,100万円増加
受益者負担金の見直し	600万円減少
合計	6,600万円増加

歳出面での取り組みと効果額

財政健全化推進プランの取り組み	効果額
職員数の削減	1億4,400万円削減
市単独補助金の見直し	1億 800万円削減
特別会計繰出金の抑制	1億 200万円削減
投資的経費（公共事業）の縮減	7,300万円削減
効果的な外部委託	5,600万円削減
職員給等の見直し	2,200万円削減
市議会経費の見直し	400万円削減
内部管理経費の削減	2,300万円増加
合計	4億8,600万円削減

特別会計の決算状況

一般の歳入歳出とは別に経理している特別会計の決算状況です。

会計区分		20年度決算	対前年度伸率	会計区分		20年度決算	対前年度伸率
国民健康保険 特別会計	歳入	43億320万2千円	▲5.3%	老人保健医療 特別会計	歳入	4億455万5千円	▲89.9%
	歳出	43億267万円	▲5.3%		歳出	4億455万5千円	▲89.9%
簡易水道事業 特別会計	歳入	1億539万9千円	▲13.3%	介護保険 特別会計	歳入	25億3,148万7千円	5.7%
	歳出	1億539万9千円	▲13.3%		歳出	23億8,544万円	4.1%
奨学基金 特別会計	歳入	163万4千円	▲0.2%	漁業集落排水施設 整備事業特別会計	歳入	1億8,642万7千円	100.3%
	歳出	162万7千円	▲0.6%		歳出	1億8,642万7千円	111.6%
公共下水道事業 特別会計	歳入	12億165万1千円	▲21.1%	後期高齢者医療 特別会計	歳入	3億981万3千円	—
	歳出	11億4,830万1千円	▲23.6%		歳出	3億506万8千円	—

大きな増減（前年度比10%以上）があった特別会計の決算概要は、次のとおりです。

簡易水道事業…建設改良費が減少しました。これは、平成19年度に配水管敷設改良工事が重なり、建設改良費が増加していたためです。

公共下水道事業…地方債償還金が減少しました。これは、平成19年度に将来の負担を軽減する目的で地方債償還金を繰上償還していたためです。

老人保健医療…後期高齢者医療制度へ移行したことにより、歳入・歳出ともに減少しました。

漁業集落排水施設整備事業…平成21年度からの供用に向けて、平成20年度は処理場施設の整備を行ったため、平成19年度に比べ、建設改良費が大幅に増加しました。

後期高齢者医療…平成20年度からスタートした新制度です。